

九条北小学校 校長室だより

NO.23 令和3年10月4日



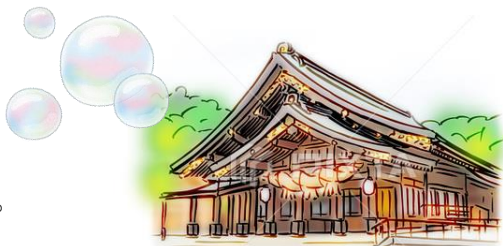
久しぶりに運動場で児童朝会を行いました。運動場で実施できるということが、とてもうれしいです。今日は、天気もよく、少し暑くはありましたが、運動場で行う児童朝会は気持ちが良いです。今回は、ある小学校の6年生の読んだ詩から、「友だち」について話をしました。



★ 10月といえば… ★

10月といえば「神無月(かんなづき/かみなしづき)」と呼ばれています。神無月は一般的に出雲大社に各地の神様が出向くので神様が不在の月と言われていますが、これもひとつの解釈だそうです。特に有力な説と言われているのが神無月の「無」は無いと言うのではなく「の」という意味。由来は諸説ありますが、「神の月」つまりは神様を祭る月だから神無月と呼ぶ説があります。

逆に**神様が集う出雲大社がある島根県では 10月には神在月(かみありづき)と呼ばれています。**ここから「無」が無い、神様がいないということになったのでは？と考えられているそうですが、根拠はないそうです。ほかに、雷が鳴らない月で「雷無月(かみなしづき)」や新穀でお酒を醸(かも)す月ということで「醸成月(かみなしづき)」から神無月と呼ばれるようになったなど定かではない話が多いようです。



★ 「友だち」 ★ ある小学校の6年生の読んだ詩を紹介します。

「たった一つのことば」 *****
たった一つのことばで
友だちをきずつけてしまう
悪いことだとわかっていても
つい、言ってしまう



たった一つのことばで
友だちをはげますことができる
でも、そのことばは
なかなか 口に出しにくい



これからは、
はげましのことばで
ほんとうの友だちを つくっていこう*****
わからないときには、教えてくれる友だち。困っているときには、
助けてくれる友だち。さびしいときには、元気づけてくれる友だち。
こわいときには勇気づけてくれる友だち。私たちの身のまわりに
そんな友だちがいたら、学校は本当に楽しいところになります。

皆さんはお互いにより友だちになっていますか。友だちがいやがることをしていませんか。きずつけるようなことを言っていませんか。私たちは、自分が気づかずに友だちをきずつけていることが多いです。

友だちをいつも元気づけたり、はげましたりする人は、友だちの心がよくわかる人だと思います。友だちの心がよくわかる人は、友だちがたくさんできます。そして、その友だちも、あなたの心をよくわかってくれるのです。

10月の生活目標は、「あいての気持ちを考えて行動しよう」です。お互いにわかりあえる友だちにないましょう。